

こころの見える化

● 広島学習センター客員教授 齋藤 大輔 ●



心理学といえばアンケート調査や面接調査を行うといったイメージがあるかもしれませんが、私の研究では、心電図や脳波計、MRI 装置といった計測機器を活用し、こころと身体をつなぐ客観的なデータから捉えるということをしています。たとえば、緊張したときにドキドキしたり、手に汗をかくたりすることがありますが、こうした自律神経の反応の変化から、目には見えない心の状態を探っています。専門とする分野としては「神経・生理心理学」といわれるものになり、自律神経の反応や脳の活動といった生理的な指標を使って、「こころを見える化」する研究を行っています。

大学時代は心理学を専攻し、大学院に進んでからは「こころ」と「からだ」がどのように影響し合っているのかに興味を持つようになりました。それ以来、自律神経や脳活動の変化を通して、こころの仕組みにアプローチする研究を続けています。大学を

卒業してからは、乳幼児から高齢者まで幅広い年代を対象に研究をしてきました。たとえば、子どもの脳機能が成長とともにどのように発達していくのか、対人コミュニケーションのような複雑な社会環境の処理が脳のどこで行われているのか、高齢になると記憶力や注意力がどう変化するのかといったテーマに対して、生理学的なデータをもとに明らかにしようとしています。

本学では、学生の皆さんと一緒に、「人のこころとはどういうものか」をさまざまな角度から考えていけたらと思っています。心理学は、人間に対する興味から始まる学問です。自分自身のことを見つめ直したり、他者への理解を深めたり、社会のあり方について考えるきっかけにもなります。授業や研究を通じて、心についての理解を一緒に深めていけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

目次

客員教員寄稿	1
所長室便り	2
退任・新任のご挨拶(客員教員)	3
事務室からのお知らせ	
● 通信指導について	4
● Web 単位認定試験について	5
● 面接授業科目・ライブ Web 授業の追加登録について	5
● キャッシュレス決済について	6
● 庄原教室の紹介	7

行事のお知らせ	
● 公開講演会	8
学習センター紹介 福山サテライトスペース	8
スケジュール(10月~1月)	8
学位記授与式	
● 集合写真・卒業生数報告	9
● 所長祝辞	10
● 客員教授祝辞	11



所長室便り

ご入学おめでとうございます

広島学習センター所長 吉村 幸則



新入学生の皆さま、ご入学おめでとうございます。広島学習センター(SC)と福山サテライトスペース(SS)の教職員一同は、放送大学で学ぶことに高い志をお持ちの皆さまを心より歓迎いたします。学習センターとサテライトスペースは、面接授業や学習相談、講演会、事務的な支援が行われるだけでなく、友人とのふれあいや課外活動などもでき、皆さまが対面で会えるキャンパスです。広島SCと福山SSでは合わせて面接授業が年に約60科目開講されるほか、客員教員の先生方による公開特別講座や学習相談、地域の文化や課題等について話していただく公開講演会も開催されて、いろいろなことを広く学ぶことができます。広島SCと福山SSでは約1600名の学部生と院生の皆さまが学ばれています。

放送大学の授業には、放送授業、オンライン授業、面接授業があり、受講しやすい時間と場所でいつでも、どこでも受講できます。また、合理的配慮を必要とする場合の体制も大学として整備されています。受講により多くのことを学

んでいただきたいと思います。広島SCでは講演会にも力を入れています。今年11月1日(土)の文化祭の日に、「今あらためて『平和』を考える」という公開講演会を開催します。この講演会では、広島市の後援を得て「広島赤十字・原爆病院の原爆救護 ―被爆直後とその後の対応について―」と「原爆後障害の概要、そして残された課題：『いのち』、『こころ』、『くらし』の視点から」という平和を考える講演が行われます。こうした講演会や公開特別講座にもどうぞご参加ください。

課外活動のサークル・同好会は8団体あって、皆さんが活動を楽しまれています。秋の文化祭では、個人や授業の作品の展示もありますが、サークル・同好会からの作品の出展が多くあります。皆さんもサークル・同好会に参加したり、新しいサークルを立ち上げたりで、課外活動を楽しまれてはいかがでしょうか。サークル活動に限らず、学生同士のふれあいから友人を得ることは学生生活を豊かにしてくれるので、そういった機会を大切にいただきたいと思います。

2025年度第1学期末退任の挨拶(客員教員)

広島学習センター | 自然と環境コース



三本木 至宏(サンボンギ ヨシヒロ) | 広島修道大学教授

専門 | 微生物学、蛋白質科学

高校1年生のときに生物の先生が「君たちは医学部に行きたいのかもしれないが、農学部がいいよ」とおっしゃっていたのを、高校3年生の夏になってふと思い出し、農学部で学者になることを目標にしました。それから50年近く、農学の中でも微生物学と蛋白質科学の分野において、学者集団の末席を汚すことならできるかもしれない、と思い込み続けてきました。

このたび、2年半務めさせていただいた放送大学客員教員を退任することになりました。この間、皆様の純粋に学びたいという向学心に刺激され、教える立場でありながら、私自身がたくさん学びました。ありがとうございました。これからも学び続けることを一緒にさせてください。

2025年度第2学期新任の挨拶(客員教員)

広島学習センター | 自然と環境コース



大塚 攻(オオツカ ススム) | 広島大学名誉教授

専門 | プランクトン学、水族寄生虫学

日本や東南アジアに生息する動物プランクトン、寄生生物を40年間研究してきましたが、自然は知れば知るほど神秘的で奥深く、精緻なものであり、また、生物は相互依存的だと痛感いたしております。最近では広島県内にも生息する生きた化石カブトガニの保全生態、身近な野鳥の食性などについても研究を広げています。一方、アメリカ合衆国に導入されたアジア産の海産外来種の研究を通じて、グローバルな人間の経済活動がもたらす功罪も実感いたしました。自然の不思議さ、大切さ、脆弱さについてみなさまと一緒に学べることを心から楽しみにしております。

三本木先生同様、大塚 攻(オオツカ ススム)先生にも、公開特別講座・学習相談・卒業研究事前支援を担当していただきます。

公開講座名 海洋生物と野鳥の生物学：種多様性、進化、生態と保全

海洋生物、特に干潟の生物群集（底生生物、絶滅危惧種、カブトガニなど）と動物プランクトン（クラゲ類、カイアシ類など）の種多様性、種間関係、生態、進化、人間社会との関係、保全などについて論じます。また、我々の身近に見られる野鳥の渡り、食性、保全について論じます。

日にち	時間	テーマ
12月 7日(日)	13:00～14:30	海洋動物プランクトン、特にクラゲ類とカイアシ類の生態
2月 21日(土)	13:00～14:30	身近にみられる野鳥の生態：その渡り、植生、保全について

お日にち等、変更になる場合もありますので、ご参加される際は、必ず、下記の広島学習センターのウェブサイトでご確認ください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/about/2025/02/05100530.html>



●通信指導について

☑ 学生生活の葉(教養学部P67～/大学院P72～) 参照

通信指導とは、放送授業または一部のオンライン授業について、各学期の途中に1回一定の範囲から出題された課題について、その答案を提出し担当教員の添削指導を受けることです。下表の提出期間内にWeb通信指導もしくは郵送※にて提出してください。**未提出の場合は単位認定試験の受験資格が得られません**ので、必ず締切日までに提出しましょう。

未提出や不合格の場合は、当該科目を登録した次学期に在学(休学は除く)している場合に限り、再度通信指導を受けることができます。

Web通信指導 (インターネット)	2025年11月6日(木)10:00～ 11月26日(水)17:00
郵 送※	2025年11月12日(水)～ 11月26日(水) 放送大学本部(千葉県美浜区若葉2-11)必着

※郵送での提出は、Web通信指導による提出が困難な場合に限ります。

2024年度2学期から通信指導は原則Web提出となりました。

詳しくは下記URLまたはQRコードよりご確認ください。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webtsushin/2025/>

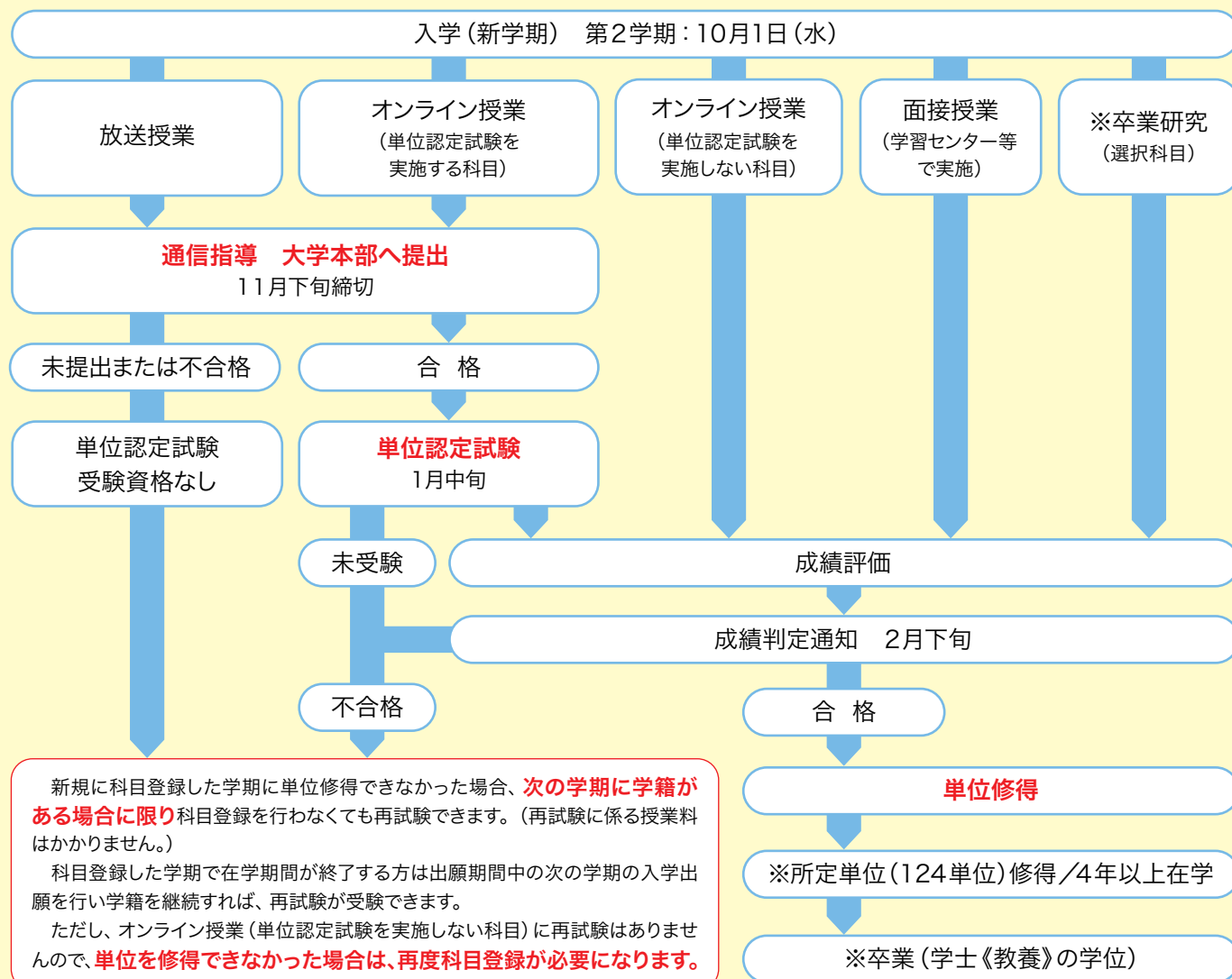


※添削結果は、択一式科目の場合は**1月8日(木)**、記述式科目の場合は**1月14日(水)**までに送付されます。もし届かない場合は、大学本部(☎043-276-5111)に連絡してください。

※通信指導の内容に関する質問は、提出期間締切後までお受けできません。疑義等が生じた場合は、提出期間後にシステムWAKABAの「授業サポート→質問箱」または「質問票」を用いて質問してください。

単位修得までの流れ

※は全科履修生のみ



● Web単位認定試験について

☒ 学生生活の葉(教養学部P72～/大学院P77～) 参照
 ☒ 授業科目案内(P15)

今学期の単位認定試験は、**Web受験方式(一部科目※については郵送受験方式)**にて実施します。

1. 試験日程

実施方法	出題方法	試験日程(郵送試験は提出期間)
Web試験(試験期間)	択一式科目	2026年1月18日(日)9:00～1月26日(月)17:00
Web試験(試験期間)	記述式・併用式科目	2026年1月18日(日)9:00～1月22日(木)17:00
郵送試験(提出期間)	すべての出題形式	2026年1月18日(日)～1月22日(木)《郵送必着》

2. 実施方法

Web受験方法

自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出(送信)を行います。
(試験期間内であればいつでも受験可能)

- ▼ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- ▼ 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の) 併用式」のいずれかの形式で出題されます。
 - ・択一式問題: 選択肢をクリックして解答します。
 - ・記述式問題: 解答記入欄に文字入力して解答します。



郵送受験方法

※「行政学講説('24)」「記述式」、「正多面体と素数('21)」「記述式」、
「日本美術史の近代とその外部('18)」「記述式」、「量子化学('19)」「併用式」の4科目のみ

- ▼ 1月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- ▼ 試験時間の制限は行いません。



● 面接授業科目・ライブ Web授業の追加登録について

- 1 空席発表: 10月17日(金)15:00** 空席のある科目と人数を発表します。
広島学習センター3階掲示板「事務室からのお知らせ」や、面接授業Webサイト(第2学期)の【お知らせ】にて確認できます。
▷ システムWAKABAログイン→【学内リンク】内「面接授業(第2学期)のページ」→【お知らせ】内「空席状況のお知らせ」
- 2 事前申請受付期間: 空席発表～10月22日(水)13:10まで**
上記事前申請受付期間内に、下記のいずれかの方法により申請してください。
 - ・Googleフォームから申請
各学習センター Webサイト トップページから、GoogleフォームのURLをクリックして必要な項目を入力してください。
 - ・学習センター窓口で申請
- 3 先着申請受付** (事前申請で満席とならなかった科目)
事前申請で満席とならなかった科目については、10月23日(木)15:00以降、システムWAKABAで 随時、空席状況を確認できます。(先着順で追加登録を受付)
▷ システムWAKABAログイン→教務情報→科目登録申請→空席照会→希望の科目を検索
・学習センター窓口またはメールで申請

!! 重要なお知らせ !!
※必ずお読みください

- ★2025年10月から全国の学習センターは「キャッシュレス決済」になります。
★窓口にお越しいただくことなく、いつでもどこでもお支払いいただけます。
★原則として、現金・現金書留・郵便定額小為替証書の取扱いはいたしません。が、事情によりキャッシュレス決済が難しい場合はご相談ください。

キャッシュレス決済の方法は2種類です。

- ①メール決済 → 学習センターからメールでお支払い方法を連絡します。
②窓口決済 → 窓口の決済用端末機によりお支払いいただけます。

利用できるキャッシュレス決済 (2025年10月現在)

対象手続き	①メール決済	②窓口決済
クレジットカード	VISA / MasterCard / JCB / AMEX / DINERS / DISCOVER	VISA / MasterCard / JCB / AMEX / DINERS / DISCOVER / 銀聯
電子マネー	お取り扱いできません	ID / 楽天Edy / WAON / nanaco / QUICPay+ / 交通系電子マネー (PiTaPaを除く)
コード決済	d払い / au PAY	PayPay / au PAY / メルペイ / d払い / ゆうちょ Pay / WeChat Pay / Alipay / 銀聯(QR)
コンビニ決済	ローソン / ファミリーマート / ミニストップ / デイリーヤマザキ / セイコーマート	お取り扱いできません

対象となるお支払い

- 証明書等発行手数料 (発行手数料1通につき 200円)
- 学生証再発行手数料 (発行手数料1回につき 500円)
- 学研災保険料
- 文献複写手数料 【②窓口決済のみ】 (白黒1枚 10 円、カラー 1枚 50 円 ※本部図書館所蔵資料の場合)
- 面接授業・ライブWeb授業の追加登録授業料

その他注意いただきたいこと

- ※キャッシュレス決済でのお支払いが確定した後の返金やキャンセルはできません。
(ただし、面接授業・ライブ Web 授業で閉講等あった場合の授業料は後日、銀行振込等により返金いたします。)
※窓口での電子マネーなどのチャージはできません。残額をご確認のうえお越しください。

予告

- 2026年4月から、面接授業・ライブWeb授業の追加登録の際、支払い方法に関わらず授業料のほかに事務手数料(1科目につき 200円)が必要になります。(ご自宅等、学習センター窓口いずれで決済した場合も同じです。)
★従来6,000円が6,200円に、2科目の場合は12,000円が12,400円になります。

【本件問い合わせ先】 放送大学本部：043-276-5111 (総合受付)

庄原教室の紹介



庄原教室は庄原市立図書館内にあります。



図書館のエントランスです。矢印の奥に庄原教室があります。



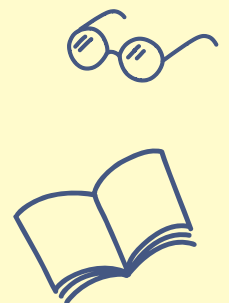
放送大学専用席が1席あります。



募集要項やリーフレットはご自由にお持ち帰りください。



2025年第2学期の印刷教材を揃えています。パンフレットはご自由にお持ち帰りください。



公開講演会

■ テーマ：今あらためて「平和」を考える
 ■ 日 時：2025年11月1日(土) 13:30～16:20
 ■ 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
 ■ 第1部 13:35～14:45
 講 師：古川 善也先生
 (広島赤十字・原爆病院院長)
 「広島赤十字・原爆病院の原爆救護
 ー被爆直後とその後の対応についてー」

■ 申し込み：広島学習センター事務局
 (TEL:082-247-4030 メールアドレス:hiroshima-sc@ouj.ac.jp)
 または右の二次元コードから
 ■ 第2部 14:55～16:05
 講 師：川野 徳幸先生
 (広島大学理事補佐(平和担当)・平和センター教授)
 「原爆後障害の概要、そして残された課題：
 「いのち」、「こころ」、「くらし」の視点から」



● 学習センター紹介 福山サテライトスペース



放送大学では、「学習センター紹介 鳥取・岡山・**福山**・福岡・佐賀・熊本・宮崎・沖縄」(15分版)を放送しています。(9月15日(月)12:45～BS231※以降、10月下旬まで数日間隔でリピート予定です。)

福山サテライトスペースはJR福山駅から南へ徒歩約10分、中央公園・学びの館ロースコムにあります。公開講演会を毎月開催していますので一般の方々も是非ご参加ください。

スケジュール(10月～1月)

2025 10

OCT

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
祝 13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4日(土) 大学院筆記試験
 17日(金) 15:00 面接授業空席発表
 17日(金) 15:00～22日(水) 13:10
 面接授業追加登録(事前申請受付期間)
 23日(木) 面接授業追加登録(事前申請抽選結果通知)
 15:00～ 面接授業追加登録(先着順申請受付)



2025 11

NOV

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
祝 3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	祝 23
振 24	25	26	27	28	29	30

1日(土)文化祭・公開講演会(広島学習センター)
 6日(木)10:00～26日(水)17:00 通信指導提出期限(Web)
 12日(水)～26日(水) 必着 通信指導提出期限(郵送)



2025 12

DEC

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

28日(日)～1月5日(月) 閉所日



2026 1

JAN

月	火	水	木	金	土	日
			祝 1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
祝 12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9日(金)・10日(土)13:30～17:30 Web単位認定試験体験会
 18日(日)9:00～26日(月)17:00 Web単位認定試験(択一式科目)
 18日(日)9:00～22日(木)17:00 Web単位認定試験
 (記述式・併用式科目)
 18日(日)～22日(木) 郵送単位認定試験(全ての出題形式)





卒業おめでとうございます。

2025年9月28日(日)に、2025年度第1学期学位記授与式を行いました。



広島学習センター



福山サテライトスペース

2025年度第1学期 卒業生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	10名	1名
心理と教育コース	13名	6名
社会と産業コース	4名	1名
人間と文化コース	2名	3名
情報コース	4名	1名
自然と環境コース	6名	2名
合 計	39名	14名

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。





お祝いの言葉

広島学習センター所長
吉村 幸則



令和 7 年度第 1 学期ご卒業おめでとうございます。今学期は広島学習センターと福山サテライトスペースで、教養学部を53名の方が卒業されました。放送大学では、放送授業、オンライン授業、面接授業があり、学生の皆さんのご都合に合わせて学ぶことができますが、お仕事をお持ちの方にはご苦労も多かったと思います。こうした中で、ご卒業された皆さまにお祝いの言葉をお送りできることを嬉しく思います。

本年は「被爆80周年」にもなります。私たちの周りには平和を願って活動をされている方が沢山おいでです。現在も世界の各地で紛争が起っています。これからも私たちは平和を希求し、日本そして世界の人々と平和への願いを持ち続けることが大切であると思っています。本年11月1日には、広島学習センター文化祭の日に、「今あらためて『平和』を考える」という公開講演会を開催する予定です。広島赤十字・原爆病院で行われた原爆救護活動、そして原爆による後障害についてご講演をいただきます。こうした講

演会を通じて、被爆の実相と平和について学ぶ機会を継続したいと考えています。

昨今は「自国ファースト主義」の報道が多いようです。しかし、人類や地球上の生き物が生き残し続けるには、異常な気象変動の抑制や、食料の安全保障、感染症の対策など、さまざまなことで国際的な協調が必要です。各国がそろって平和を希求するとともに、こうしたことに対する国際連携が行われることは大切ですので、私たちの意識に課題として持ち続けたいものです。

私たちは教養を高めることにより、新しい喜びを得られると思います。これからも放送大学での経験を活かして学び続けられることを願っています。皆さまの学ぶ意欲は、きっと周囲の方のさらなる意欲も誘うのではないのでしょうか。皆さまは今回ご卒業されますが、今後とも公開特別講座や公開講演会に参加していただきたいですし、再入学や大学院進学も歓迎いたします。

皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。



学位記授与式客員教授祝辞

広島学習センター
客員教授 西谷 元



卒業生のみなさま、本日はご卒業、誠にありがとうございます。広島学習センターから39名、福山サテライトスペースから14名、合計53名の学び舎を巣立たれるみなさまに心から祝意を表します。

放送大学での学びは、単なる知識の習得にとどまらず、広い視野と深い理解をもたらすものです。国際法を専門としてきた私の立場から申しますと、法とは単なる規則の集まりではなく、異なる価値観や利害を調整し、共に生きるための知恵の体系です。国際社会においても国内社会においても、法は人間の営みの根幹を成しています。

私はこれまで、国際紛争や憲法を中心に授業や公開講演を行ってきました。国際法の視点から見れば、戦争・武力行使は厳しく制限されています。国連憲章は、国家の安全保障と平和維持を目的に掲げ、力の行使を例外的な場合に限って認めています。しかし、現実には紛争が絶えず、法と政治、理念と現実の間の緊張が常に存在します。こうした矛盾をいかに乗り越えるかは、法律学が長年問い続けてきた課題であり、今を生きる私たちにも突き付けられている問題です。

また、日本国憲法を例にとれば、「表現の自由」や「平和主義」といった規範は理想であると同時に、具体的な社会問題に直面したときにこそ、その意味が問われます。表現の自由は無制限ではなく、他者の権利や社会秩序との調整が必要です。平和主義も、国際紛争の現実の中でどのように実効性をもたせるのが常に問われています。法は抽象的な理念を掲げつつ、現実の複雑な問題を調整する道具であり、その柔軟さと持続力が社会を支えているのです。

一方で、近年の私の仕事は、学生の皆さんを対象とした授業から、他大学の教職員を対象としたプ

ログラム設計や研修に重点が移ってきました。そこで痛感するのは、教育の担い手自身が学び続けなければならないということです。教職員が柔軟な価値観に基づき、学生に多角的な理解を促すことは、社会全体の成熟に直結します。放送大学で学ばれたみなさまも、同じように学び続ける姿勢を持ち続けていただきたいと思います。

現代社会は、世界各地での国際紛争、「Diversity (多様性)」「Equity (公平性)」「Inclusion (包括性)」をめぐる議論、国際貿易環境問題、さらにはAIの台頭など、数多くの新しい課題に直面しています。これらに関わる問題は、まさに法的調整を必要とする現代的な論点です。これらの課題は複雑で解決が容易ではありませんが、放送大学で培った学びの力は、必ずや冷静な分析と的確な判断を下す力として生かされるでしょう。

法の世界で繰り返し語られるのは「多様な価値観の調整」です。これは社会における法の役割であると同時に、学びの営みそのものでもあります。自分の意見をもつだけでなく、なぜ他者が異なる意見をもつのかを理解しようとする姿勢が、共生の基盤を築きます。

人生にも試練や困難がありますが、学びを続けることによって、どのような状況でも前を向き、歩み続ける力を得ることができると思います。

最後に、私自身も、大学在職中またその後のキャリアで、いろいろな方々と過ごすなかで、多くの学びをいただきました。一研究者としても教育に携わる者としても、学びとは一生涯続く営みであると改めて実感しております。これからの人生において、学びを道しるべとし、社会のさまざまな課題に立ち向かわれることを願い、本日のご卒業を心よりお祝い申し上げます。